

各 位

中 部 経 済 同 友 会

代 表 幹 事 天 野 源 之

代 表 幹 事 宮 崎 直 樹

代 表 幹 事 加 藤 博

交 流 委 員 長 西 脇 正 導

(一社)神 戸 経 済 同 友 会

代 表 幹 事 檜 木 一 秀

代 表 幹 事 井 谷 憲 次

交 流 委 員 長 安 福 武 之 助

第28回 中部・神戸経済同友会 合同懇談会のご案内

平素は、本会運営ならびに活動につきまして格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会および(一社)神戸経済同友会では、かねてより隔年で合同懇談会を開催しており、第28回目となる本年は、下記のとおり神戸にて開催いたします。

当日は、「神戸製鋼所 高砂製作所」および「液化水素荷役実証ターミナル『Hy touch 神戸』」を視察いたします。また、視察終了後には神戸酒心館での夕食懇談会を予定しております。

皆様方におかれましてはご多用のことと存じますが、中部・神戸経済同友会の一層の交流と親睦を深めていただく趣意からも、ご参加を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和5年11月28日(火) 9:05~19:00
(※当日のスケジュールは別紙をご参照ください)
2. 集 合 9:05 JR 姫路駅 南バスターミナル
3. 視 察 先 ①神戸製鋼所 高砂製作所 (兵庫県高砂市荒井町新浜 2-3-1)
②液化水素荷役実証ターミナル「Hy touch 神戸」(神戸市中央区神戸空港 3)
4. 懇親会会場 神戸酒心館 (神戸市東灘区御影塚町 1-8-17)
5. 参 加 費 20,000 円内外 (開催後、実費を請求させていただきます)
6. 定 員 20 名 (先着順、ご参加は本会会員限りとさせていただきます。)
※ 視察先都合により、同業の方には工場見学をお控えいただくようお願いする場合がございます。予めご了承ください。
7. 本状ご案内先 直前代表幹事、常任幹事、監事、幹事、顧問、交流委員会委員の皆様
8. 申込方法 ご参加の場合は、11月2日(木)までに会員専用ページよりご登録をお願いいたします。お申し込みいただいた方には、後日詳細を E-mailにてご案内いたします。
なお、ご登録後、11月17日(金)までにお取り消しのお申し出なくご欠席の場合は、会費を申し受けますので悪しからずご了承ください。

中部経済同友会
会員専用ページ



9. 本件問い合わせ先：中部経済同友会事務局 担当：鶴田、藤原

TEL : 052-221-8901 E-mail : cace-seminar@cace.jp

以 上

中部・神戸経済同友会 合同懇談会 スケジュール

(2023.10.13 時点案)

※交通事情等により予定時間が前後することがございますが、ご容赦願います。

日程	時刻・内容
11月28日(火)	9:05 集合 JR 姫路駅
	9:15 出発 (バスにて移動)
	10:00 株式会社神戸製鋼所 高砂製作所 (※1) 到着 10:00~12:15 工場見学 12:15~13:00 工場内会議室での昼食
	13:15 神戸製鋼所 高砂製作所 出発
	14:10 液化水素荷役実証ターミナル「Hy touch 神戸」(※2) 到着 14:15~15:15 見学・説明 (30分の入替制)
	15:20 液化水素荷役実証ターミナル「Hy touch 神戸」出発
	15:40 神戸酒心館 (※3) 到着 15:45~17:00 酒蔵見学 17:00~18:30 懇親会 (酒心館ホール)
	18:40 神戸酒心館 出発
	19:00 JR 新神戸駅到着後、解散

※1~3 視察先等の概要については、次頁をご参照ください。

<ご参考> 交通のご案内

【往路】

ひかり533号 名古屋 7:26 発 ⇒ 姫路 8:49 着

【復路】

のぞみ 54号 新神戸 19:30 発 ⇒ 名古屋 20:34 着

視察・訪問先のご案内

※ 1 神戸製鋼所 高砂製作所

KOBELCO グループのカーボンニュートラル達成に向けた取り組みの一つとして、当製作所では「ハイブリッド型水素ガス供給システム」の実証実験を本年 3 月に開始しました。

今回はこの設備の他、機械工場や鋳鍛鋼工場 13,000 トン大型プレス機などをご案内致します。



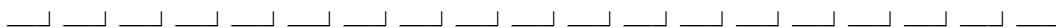
※ 2 液化水素荷役実証ターミナル「Hy touch 神戸」

川崎重工が 2020 年に納入した世界初の液化水素荷役実証ターミナル（Hy touch 神戸）では、オーストラリアから褐炭由来の水素を輸入して日本で供給する実証試験の一部として、液化水素の揚荷・積荷・貯蔵するための実証試験を行っています。

液化水素荷役実証ターミナルでは、同社で建造した世界初の水素運搬船「すいそ ふろんていあ」で輸送してきた液化水素を、 -253°C の極低温で長期間、安定的に貯蔵する国内最大の 2,500m³ 球形液化水素貯蔵タンク（容量 2,250m³）や液化水素専用船陸間移送ローディングアームなどが設置されています。



当日は、同社が実施している実証試験の取り組みについても説明させていただきますので、水素社会への取り組みの一端を是非ご覧ください。



※ 3 神戸酒心館

宝暦元年（1751 年）に創業した神戸酒心館は、手造りにこだわる酒蔵として十三代にわたり「福寿」の名を守り続けています。

SDGs を経営の中核に位置づけ、さらなる効率改善を追求し、地球温暖化など環境に配慮した酒造りを目指しています。

良質の原料、蔵人の感性、膨大な手間と時間。その、どれひとつが欠けても おいしいお酒は完成しません。効率やスピードを追わず時代におもねることのない、丁寧な酒造りを続け、日本酒の豊かな伝統を未来へ繋いでいきたいと考えます。

また、酒造業以外にもさまざまな事業にも取り組み、食文化や地域文化にも貢献しています。

以 上